

JASS 18 M-111(水系さび止めペイント)適合品

速乾形 1液水系変性エポキシ樹脂さび止め塗料

# 水性デラスト

防食性と付着性に優れたエポキシ樹脂系特殊水性樹脂を配合した水系さび止め塗料です。  
水系1液タイプで速乾性に優れており、旧塗膜を侵す心配もありません。

特長

下塗



## 速乾性

水系1液で速乾性を有し、スムーズに塗装作業を進めることができます。

## 防食性

JASS 18 M-111 水系さび止めペイントの品質に適合し、防食性を発揮します。

## 水系塗料

鉛・クロムなどの有害重金属を含まず、作業環境を安全に保ち、人と環境にやさしい塗料です。

用途

建築一般鉄部下塗り塗料

鉄扉、手すり、鉄骨、パイプなど建築鉄部の新設及び改修

下地適性

素材 ▶ 鉄、アルミニウム、ステンレス、カラータン、亜鉛めっき※

旧塗膜 ▶ 合成樹脂調合ペイント、フタル酸樹脂エナメル、ポリウレタン樹脂塗料、エポキシ樹脂塗料、アクリル樹脂塗料

各素材、旧塗膜は入念なケレン、目粗しを行ってください。※ 事前に付着性の確認を行ってください。

荷姿・色相

16kg石油缶、4kg缶



\*この色見本は印刷のため、現物の色とは若干異なります。ご了承ください。

防食性試験

複合サイクル試験  
45サイクル  
(社内試験)

水性デラスト



溶剤系1液形変性エポキシ樹脂  
さび止め塗料



## 塗装仕様例

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20°C)
素地調整	劣化した旧塗膜、発錆部はケレン工具を用いてを入念に除去し、活膜部はサンドペーパーなどで表面を目粗しする。油脂、汚れ等はウエスや溶剤拭きで除去し、清掃する。					
下塗り	水性デラスト (水道水)	0~5	0.10~0.14	1	はけ ローラー	3時間~7日
上塗り	水性スペースエース (水道水)	10~20	0.10~0.13	2	はけ ローラー	3時間~7日

## 品質

項目	内容	性状
容器の中での状態	かきまぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
低温安定性(-5°C)	変質しないものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間(h)	8 以内	1
上塗り適合性	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
塗膜中の鉛(%)	0.06 以下	合格
塗膜中のクロム(%)	0.03 以下	合格
耐複合サイクル防食性	36サイクルの試験に耐えるものとする。	合格

## 上塗り塗料適性

- 水性スペースエース
- 水性スペースエース F4 3分艶, 5分艶
- グラントマイスターSI 3分艶, 5分艶
- シンター水性グラントSI 3分艶, 5分艶

## 乾燥時間

		5°C	10°C	20°C	30°C
乾燥時間	指触	40分	30分	20分	15分
	半硬化	1時間	50分	40分	30分
	完全硬化	14日	10日	7日	7日
塗重ね間隔	最小(同種)	5時間	5時間	3時間	3時間
	最大(異種)	1か月	1か月	1か月	1か月

## 施工上の注意事項

### ■ 調査

1. 塗料取り扱い、屋外または換気の良い場所で行ってください。
2. 火気厳禁です。
3. 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。
4. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
5. 塗料が皮膚に接触することで感作性を引き起こすことがあります。
6. 塗料の取り扱い時は、必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など）を使用して、塗料が身体に付着しないよう注意してください。
7. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものは、その日のうちに使用してください。
8. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
9. さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。
10. 水系塗料ですので、シンナー類の混合は絶対に避けてください。

### ■ 塗装

1. 気温および被塗面温度が5°C以下、湿度85%RH以上の場合は塗装を避けてください。乾燥遅延、付着不良、外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が50°C以上の場合は塗装を避けてください。外観不良、塗膜性能低下などの不具合を生じるおそれがあります。
3. 被塗面に結露があるときは塗装を避けてください。（特に早朝、夕刻の結露には注意してください。）
4. 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
5. 強風、砂埃が多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが、塗装中や乾燥後に付着すると塗膜性能低下や外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
6. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
7. 塗装時は、必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など）を着用し、身体に付着しないよう注意してください。
8. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、十分に換気を行い、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
9. 塗装中および塗膜乾燥中は、換気を十分に行ってください。

10. 屋外での塗装において、建物の換気口、空気取入れ口などから、塗料や揮発した溶剤が室内に入り込まないように適切な処置をしてください。
11. 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅が生じる場合があります。あらかじめ試し塗りにより確認してください。
12. 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
13. 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。汚れが落ちにくい場合はラッカーシンナーをご使用ください。

### ■ 緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布（ウエス）などで拭き取ってください。
6. 万が一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡、粉末消火器を用いてください。

### ■ 廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。（河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。）

### ■ 保管

1. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
2. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
3. 子供の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。  
 ※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。  
 ※ ご不明な点に関しましては、弊社お問い合わせ先までご連絡願います。



くらしゆたかにあざやかに未来を創造するコーティング

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

### 製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576  
 東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777  
 東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268  
 静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。